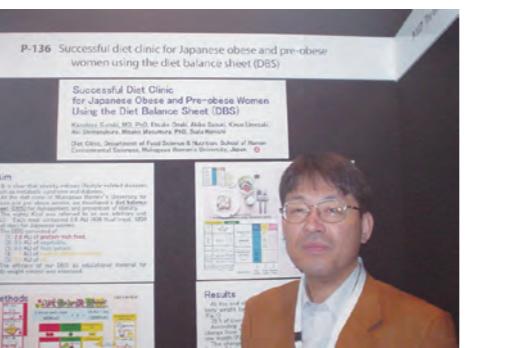


「糖尿病・内分泌内科」開設しました

糖尿病・内分泌内科部長 鈴木 一永

当院では、本年4月から「糖尿病・内分泌内科」を新たに開設いたしました。これにより当科では、糖尿病患者様を月曜日から金曜日まで、午前・午後ともに受け入れ可能となりました。これからは、淡路島内の先生方の糖尿病診療チームの一員として、糖尿病の早期発見・早期治療開始・合併症予防・合併症治療などに協力してあたらせていただきます。

糖尿病の発症初期は、一部のケースを除いて多くの場合無症状です。したがって、健康診断や人間ドック、時には別の疾患でたまたま尿糖が出ていたり血糖値が高かったりなど、発見される機会は多種多様です。「もしかして」と思ったら、まずはかかりつけの先生に相談（またはご近所の医療機関を受診）して、糖尿病の有無をチェックしていただきましょう。もちろん、糖尿病かもしれない場合や糖尿病であることが確定な場合には、かかりつけの先生から当科へご紹介いただき、早期の診断・治療をしていきましょう。





糖尿病の方への フットケア看護外来 開設中！

糖尿病のある人は特に注意する必要がありますが、ここでは皆様に行っていただきたいフットケアをご紹介！

足を毎日チェック！



- 足のおもて(変形・変色等)・うらOK？(水虫・タコ・魚の目等)
- 足の爪OK？(巻き爪や爪肥厚)
- 足の乾燥はありませんか？
- 保湿剤はお風呂上り30分以内が効果的です

看護師が足のチェックを行いケア(爪切り、タコ削り)や指導など、足についての困りごとに応じます。

第1・第3金曜日(午前中) 1回30分 完全予約制

※ 当日でも空きがあれば対応できます
詳しくは、担当医・看護師にご相談ください

★ 部署紹介 ★ ◆ MEセンター

「いのちのエンジニア—臨床工学技士—」 臨床工学技士 橋本 圭司

臨床工学技士という職業をご存知でしょうか？最近は医療ドラマでも登場するようになったので名前くらいは御存じの方もおられるかもしれません。近年の急激な医療技術の発展は医療機器の発展によるものと言っても過言ではありませんが、その反面、操作や管理はますます複雑なものとなりました。そこで1988年に医学と工学を兼ね備えた医療機器のスペシャリストとして臨床工学技士が誕生しました。当センターでは10名が在籍し、心臓血管外科手術に用いる人工心肺装置、人工透析等の血液浄化装置、各種人工呼吸器、心臓カテーテル治療などに使用する治療装置や画像診断装置、不整脈アブレーションに用いる3Dマッピングシステム、カプセル内視鏡等挙げだすときりがないほど年々取り扱う医療機器は増えています。臨床工学技士の業務は診療科の垣根なく非常に多岐に渡りますが、医療機器の能力を引き出し、最大の治療効果が得られるように操作管理するため日々自己研鑽に励み各分野の専門資格などを積極的に取得しております。今後も最新の医療を安全に提供できるように取り組んで参りますのぞよろしくお願ひいたします。



Dr.Car 画像アプレーション 画像カプセル内視鏡 画像人工心肺 画像透析

求人案内

医療スタッフ 募集

未経験OK・資格不要 医師事務作業補助者・看護補助者

要資格

- 看護師
- 薬剤師
- 臨床検査技師
- 診療放射線技師
- 視能訓練士

勤務条件、保険の取り扱い等、詳細はお気軽にお問い合わせください。
担当:総務部総務課(採用担当)



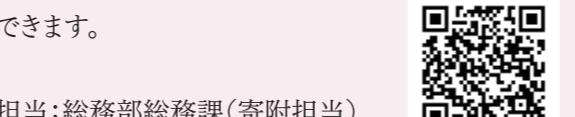
ご寄附のお願い

医療機器の整備や施設・設備の充実、患者サービスの向上などを目的に、個人や団体からのご寄附を受け付けております。皆様のご支援を賜りますようよろしくお願ひいたします。

所得税法第78条第2項第1号及び法人税法第37条第3項第1号に規定する「国又は地方公共団体に対する寄附金」に該当しますので、確定申告に際し、控除等を受けることができます。

病院のホームページに「寄附申出書」(ワード)を掲載しています。

<https://awajimc.jp/archives/5522>



担当:総務部総務課(寄附担当)

兵庫県立淡路医療センター

AMC NEWS



〒656-0021
兵庫県洲本市塩屋1丁目1-137
TEL:0799-22-1200(代表)
<http://www.awajimc.jp>

くにうみ県病だより



副院長就任挨拶

副院長(診療支援担当)兼栄養管理部長・診療部整形外科部長 澤村 悟



本年7月1日付けで副院長(診療支援担当)を拝命いたしました。

私は平成9年9月に本院へ赴任しましたので、実に25年、淡路でお世話になっていることになります。この間、私はその大半を臨床医として整形外科、特に私の専門とする脊椎外科の診療に費やしてきました。元来、臨床医としてはモチベーションを高く持っておりますが、病院の運営・経営といったことに關してはあまり意識していなかったため、このような重責を担うことにいさか戸惑いを感じております。幹部職としては、平成24年4月より地域医療連携部長、手術調整担当部長を経て、平成27年4月より診療部長を5年間、令和2年4月よりここ2年間は働き方改革担当参事として務めてまいりました。診療部長、参事を務めたここ7年間は、医師並びに医師を支えるスタッフが心地よく仕事ができる環境を作ることが私の最大の責務と考え努めてまいりました。

近年、社会全体で働き方改革への取り組みが推進されている中、医師に関しても令和6年の医師勤務時間の上限規制スタートに向けての取り組みが求められています。当院では医師の約1割、十数名の医師が年間960時間の上限規制の対象となる超過勤務を強いられている現状があります。淡路島内の地域医療、救急医療を担う当院の性格上、致し方のない事ではありますが、当院医師の過重労働という現状への改善策が求められています。当直やオンコール体制、主治医制などの医師業務の見直し、休暇の取り方など、改善に向けての問題は多岐にわたります。安定した医療を提供するためには、これらの問題を解決していくことが必要不可欠となってきます。これまでに培ってきた経験を活かして、医師の業務改善や効率的な勤務体制を構築し、また医師だけではなく当院職員全員が働きやすい職場環境を整え、島内の患者様に良質な医療を提供出来るように努めてまいりますので、今後ともよろしくお願い致します。

令和4年度 転入医師紹介



令和4年度 初期研修医



最新医療技術と豊富な症例
兵庫県立淡路医療センター
初期・後期研修医募集サイト

初期・後期研修医募集サイト



<https://www.awajimc-resident.jp/>



LINE公式アカウント
友だち募集中
@397klocy
看護部



淡路島と淡路医療センターの魅力が詰まった動画や、その時々のHOTな話題を提供しています。特に動画は、当センターの「ミルクガール」が活躍しています。興味のある方は、是非QRコードから友だちになって頂き、動画を見てくださいね。

